

# 『筑西ゼロ災 - 300日運動』 の推進を決起

-平成22年度筑西地区全国安全週間準備打合せ会を開催-

筑西労働基準監督署

筑西労働基準監督署と社団法人筑西労働基準協会は、6月2日(水)に茨城県西生涯学習センターにおいて筑西地区全国安全週間準備打合せ会を開催しました。今回の打合せ会には、前年を上回る175名の出席がありました。

開会の後、加藤協会長及び野口署長からあいさつがあり、続いて全国安全週間実施要綱を説明しました。

特別講演では(社)日本労働安全衛生コンサルタント会茨城支部事務局長である藤原歳朗氏を迎え、「よくわかるリスクアセスメント」という題目で講演がありました。内容が実務的でリスクアセスメントを導入する上でたいへん参考となり、参加者は熱心に聞き入っていました。

続いて、NC東日本コンクリート工業(株)の大野豊氏により安全宣言文が読み上げられ、参加者の盛大な拍手をもって採択されました。(安全宣言文については、別添のとおり)

最後に深津第二課長より死亡災害の撲滅に向けて「筑西ゼロ災 - 300日運動」の推進について提案があり、管内の事業者、労働者及び関係各機関が一丸となって運動を進めていくことを確認しました。

次頁より打合せ会の様子を写真でご紹介します。



写真は、あいさつをする加藤協会長。



写真は、あいさつをする野口署長。





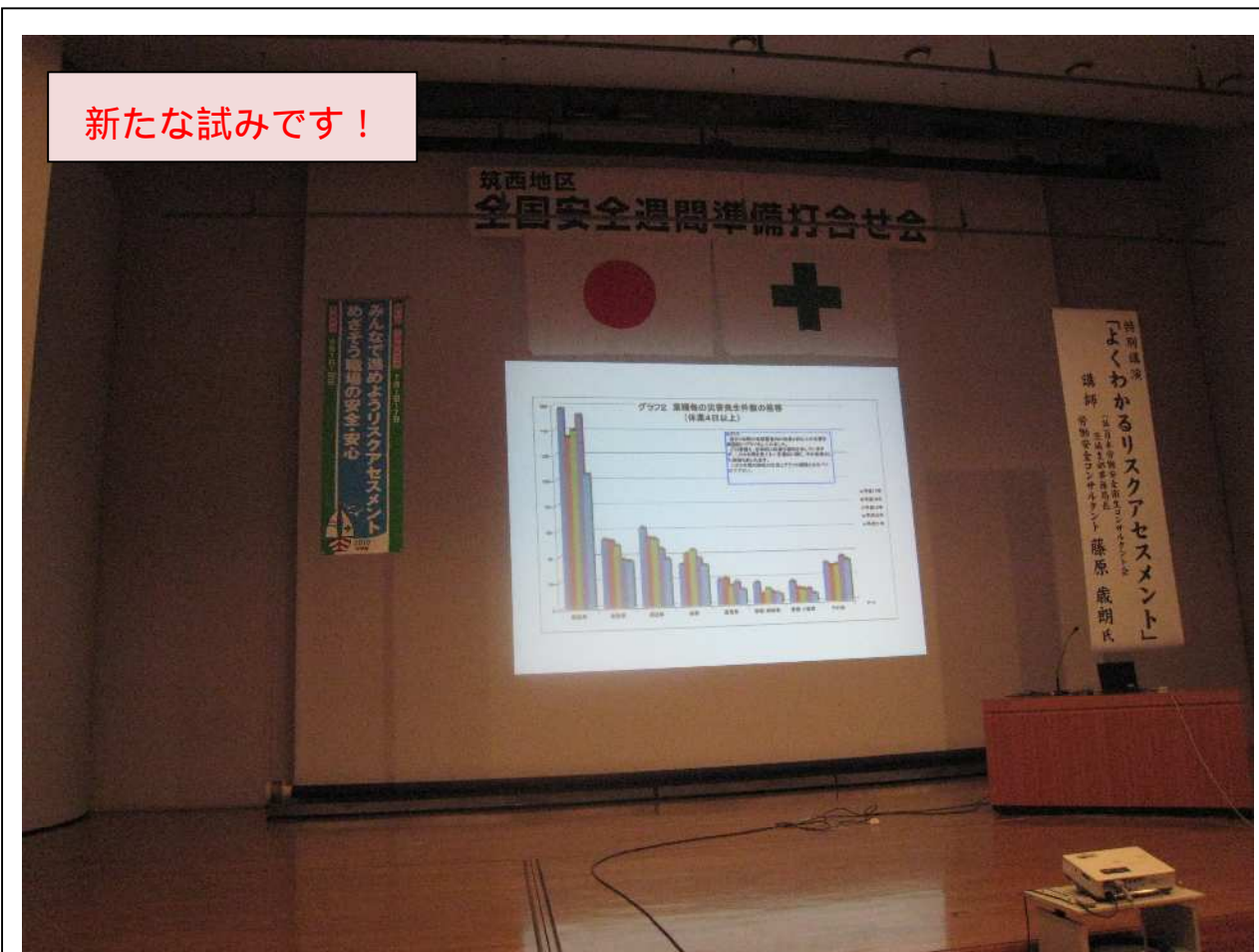
写真は、特別講演の藤原講師。



写真は、安全宣言文を読み上げる大野氏。



写真は、実施要綱の説明をする深津第二課長。



新たな試みです！

開会前の時間を利用して、災害発生状況のスライドを上映しました。

# 安 全 宣 言

筑西労働基準監督署管内における労働災害は、関係者のたゆまない努力により、長期的には減少傾向にあり、昨年の休業4日以上労働災害は265件で、一昨年と比べ77件の減少となった。

しかしながら、スレートの踏み抜きによる「墜落災害」と動力機械による「はさまれ・巻き込まれ災害」により、2人の尊い人命が失われており、関係者の無念さと、ご遺族の深い悲しみを思い起こせば痛恨の極みである。

このような労働災害を減少させ、また、働く人々の心身の健康保持増進を図るためには、経営トップをはじめ関係者全員で、「いかなる時代であっても、安全と健康の確保は全てに優先する」ことを再認識し、安全衛生活動の更なる展開を進めていくことが、今まさに強く求められている。

全国安全週間を契機として、我々は、「みんなで進めようリスクアセスメント めざそう職場の安全・安心」というスローガンを合言葉に、心身ともに健康で安全・快適に働くことのできる職場の実現を目指し、全力を挙げて、邁進<sup>まいしん</sup>することを誓い、ここに宣言する。

平成22年6月2日

筑西地区 全国安全週間準備打合せ会 参加者一同